

大阪市中央卸売市場 経営計画2021（概要版）

大阪市中央卸売市場経営計画について

1 位置付け

- 本場・東部市場を対象とする「中央卸売市場事業会計」の経営の基本計画
- 公営企業として、地方公営企業法等の趣旨を踏まえ、将来にわたって安定的に事業を継続していくため、将来における投資計画や諸施策を明らかにし、持続性を確保するための取組みと収支見通しを織り込む

2 計画期間

- 令和3年度から令和12年度までの10年間

3 主な内容

- 大阪市の目指す市場
- 開設者としてのこれからの取組み
- 今後の収支見通し

大阪市の目指す市場

市民等消費者に生鮮食料品を安定的に供給する使命

- ← 生鮮食料品を安定供給する都市インフラ
- ← 大阪市を中心とする大都市圏における消費地市場

「大阪市中央卸売市場」を設置

中央卸売市場の役割

- ①多種多様な品目を豊富に品揃える集荷機能
- ②せり・相対により公正に評価し透明性の高い価格を形成する価格形成機能
- ③迅速・効率的に多数の小売業者等へ分配する分荷機能
- ④支払を迅速・確実に行う決済機能
- ⑤需給に関わる最新情報を収集・提供する情報機能

- ▶ 経営基盤の強化
- ▶ 市場機能の強化

市場の経営改善

→中央卸売市場を安定的に維持管理していくために、経営の健全化を維持する

市場の基本機能の強化

→市場競争力の強化に資する施設整備の推進

市場の社会的役割の向上

→公正かつ安定的に業務運営を行うことにより、高い公共性を果たす

開設者としてのこれからの取組み

市場の経営改善

➤ 収入の確保

- 開設者が主体的に取り組んでいる本場業務管理棟の入居促進や資産の有効活用を検討・実施

➤ 経費の節減

- 民間活力を最大限活用しながら業務の効率化を進める
- 民間資金の導入や投資的経費の選択と集中により、投資的経費を抑制・ランニングコストを削減

市場の基本機能の強化

➤ 品質管理及び衛生管理の高度化

- 食の安全・安心への意識の高まりに対応したコールドチェーン等の確保

➤ 老朽化施設・設備の更新、長寿命化

- 中長期的な視点に立った計画的な維持管理
- 予防保全の考え方のもとでの定期的な保守・点検、修繕の実施
- 長寿命化を基本とした維持管理

市場の社会的役割の向上

➤ 市場事業者に対する指導監督等

- 取引ルール等を遵守させるための指導及び助言、是正の求め等の措置

➤ 市場機能に関する情報発信

- 市民等消費者へ中央卸売市場の役割や機能、食の大切さについて情報発信

今後の収支見通し

- ◆中央卸売市場が担っている社会的役割・機能を安定的かつ持続的に発揮していくためには、経営基盤を強化し、適正かつ健全な市場運営を引き続き確保する必要があることから、当面は、①「収支における安定した単年度黒字化」と②「資金不足比率を20%未満に抑制」することを具体的な目標をして設定する

単年度黒字化	資金不足比率
令和11年度達成見込み	20%未満を堅持 (資金剰余を維持)